

令和4年度病害虫発生予察注意報第3号

令和4年7月29日
岐阜県

作物名 水稲

病害虫名 斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類、イネカメムシなど）

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生時期 7月下旬以降
- 3 発生程度 多い

4 予報の根拠

- (1) 5月第1半旬から7月第3半旬の予察灯におけるアカヒゲホソミドリカスミカメ累積誘殺数は、岐阜市安食で63頭（平成23.0頭）と約2.3倍、美濃加茂市下米田町で46頭（平成11.1頭）と平成の約4.1倍、下呂市萩原町で146頭（平成72.0頭）と平成の約2.0倍であった（図1）。また、同期間のアカスジカスミカメ累積誘殺数は、美濃加茂市下米田町で98頭（平成17.0頭）と平成の約5.8倍、下呂市萩原町で32頭（平成14.3頭）と平成の約2.2倍であった。
- (2) 7月上～中旬に県内48地点（岐阜・西濃12地点、中濃12地点、東濃12地点、飛騨12地点）で実施した水田畦畔のすくい取り調査において、ホソハリカメムシ平均捕獲数は平成の3.4～21.6倍、アカスジカスミカメ平均捕獲数は平成の1.7～7.4倍、アカヒゲホソミドリカスミカメ平均捕獲数は平成の1.2～8.6倍、クモヘリカメムシ平均捕獲数は中濃、東濃及び飛騨地域で平成の4.6～46.3倍と多く（表）、イネ科雑草が優占する畦畔では斑点米カメムシ類の生息が顕著に認められた（図2）。
- (3) 7月上旬～中旬に本田ですくい取り調査を行った結果、岐阜、西濃及び中濃地域でイネカメムシが捕獲され、出穂前からの本田への飛び込みが確認された。
- (4) 名古屋地方気象台の1ヶ月予報（7月21日発表）では、気温は平成より高く、降水量は平成並と予想されており、斑点米カメムシ類の繁殖に好適な条件になると考えられる。

5 防除上の注意事項

<本田および畦畔の管理>

- (1) 斑点米カメムシ類は、出穂期と同時に水田に侵入し、開花～糊熟期にかけて水稲を加害し、斑点米を発生させる。また、イネカメムシは出穂直後から吸汁し、特に開花期に吸汁すると不稔を起すと考えられるため、防除時期に注意が必要である。
- (2) 斑点米カメムシ類の生息密度を低減させるため、畦畔、農道ぎわ、水路ぎわ、休耕田、および水田周辺などの除草を地域全体で一斉に行う。特に、イネ科雑草は好適な餌植物となるため出穂させないように管理する。
- (3) 水稲の出穂直前から出穂後の時期に除草を行うと、斑点米カメムシ類を水田内に追い込み、被害を助長する恐れがあるため、出穂10日前までに除草作業を完了する。
- (4) 水田内のヒエ類等のイネ科植物は好適な餌植物となるため、水稲が出穂する前に除去する。

<薬剤による防除>

- (1) 斑点米カメムシ類（主にカスミカメムシ類）に対する散布剤による防除は、穂揃期及びその7～10日後の2回実施する。
- (2) 斑点米カメムシ類（主にカスミカメムシ類）に対する粒剤による防除は出穂期の7～10日後が基本となるが、使用する薬剤により防除時期が異なるので注意する。
- (3) イネカメムシに対する防除は、一般的な斑点米カメムシ類と異なり防除時期が早く、粒剤によ

る防除は出穂期の5～10日前が防除適期となるため、前年の被害ほ場及びその近辺では防除時期に注意する。

- (4) 住宅地付近での防除は、事前周知に努め、薬剤が飛散しないよう注意する。
- (5) ミツバチが飼養されている地域で防除を行う場合は、養蜂業者との連携を密にし、危被害の未然防止に努める。
- (6) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。
(<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム)

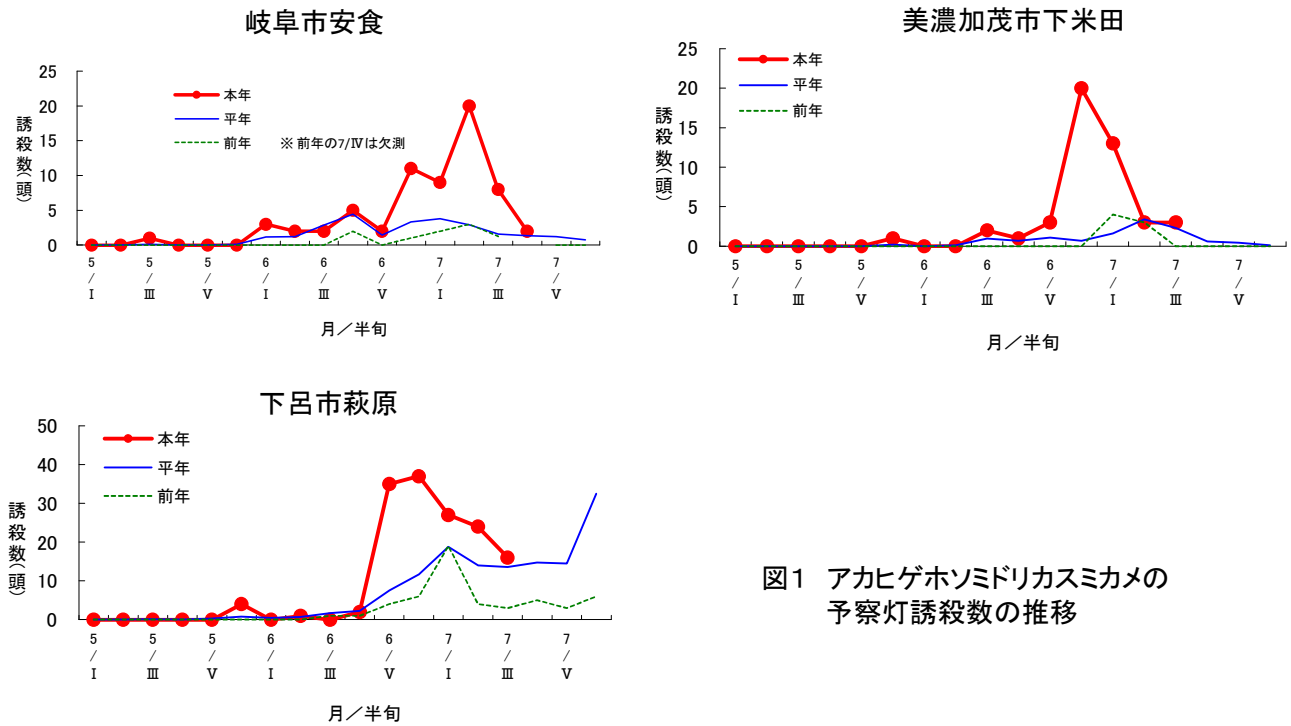


図1 アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯誘殺数の推移

表 各地域の水田畦畔でのすくい取り調査(20回振)における斑点米カメムシ類平均捕獲数(頭)

	アカヒゲホソミドリカスミカメ		アサスジカスミカメ		ホソハリカメムシ		クモヘリカメムシ		トゲシラホシカメムシ		アカヒメヘリカメムシ	
	本年(平年比)	平年	本年(平年比)	平年	本年(平年比)	平年	本年(平年比)	平年	本年(平年比)	平年	本年(平年比)	平年
岐阜・西濃	9.1 (1.5)	6.3	29.4 (1.7)	16.9	2.8 (3.4)	0.8	0.0 (0.0)	0.2	0.8 (2.2)	0.3	0.2 (1.2)	0.2
中濃	0.9 (1.2)	0.8	16.8 (4.3)	3.9	5.9 (9.8)	0.6	4.6 (4.6)	1.0	0.5 (2.5)	0.2	0.6 (2.0)	0.3
東濃	4.3 (8.6)	0.5	5.2 (7.4)	0.7	3.0 (21.6)	0.1	8.8 (46.3)	0.2	0.6 (5.8)	0.1	0.7 (16.3)	0.1
飛騨	5.1 (3.1)	1.6	6.6 (6.1)	1.1	0.2 (3.8)	0.1	0.8 (37.5)	0.0	0.1 (5.5)	0.0	0.3 (5.5)	0.1

※ 小数点第2位以下は四捨五入



ホソハリカメムシ

クモヘリカメムシ

アサスジカスミカメ

図2 水田畦畔のイネ科雑草に生息する斑点米カメムシ類